

「竹公事・藪垣・上ヶ竹」史料集

二〇二一年五月二〇日 百瀬ちどり

一 「言繼卿記」 永祿九年八月二十日条

久我内本庄兵部丞来、竹公事座人之事申之、相尋可申之由返答了

二 「言繼卿記」 永祿九年閏八月二十九日条

奉公衆橋本與五郎被来、小林民部少輔入道より、竹商人大原之物之事被申之、加思案返答之由申候了

三 「言繼卿記」 永祿九年九月十三・十四日条

十三日

橋本伊賀守両三度被来、大原竹供御人之儀小林使也、九人有之、八人之分公用可出之由也、補任錢且五十四出之、殘廿余日比可出之云々、其時補任可遣也、札且五枚遣之、橋本、石谷等に勸一盡了、(中略)

大原衆且五人之札調遣之、如此

兵衛太郎 左衛門太郎 五郎二郎 二郎四郎 二郎五郎

(「竹供御人」鑑札の図あり)

十四日

大原竹供御人請文橋本被持来云々、如此、内藏寮竹供御人致商買之上者、御公用錢毎年七月に七十五文、十二月に七十五文、両度に人別百五十文宛可致進納者也、萬一於未進懈怠者、堅可被加御成敗、仍請文之状如件

永祿九年丙寅年九月十三日

大原竹供御人

かう左衛門太郎(印)

太郎四郎(印) 大みやう(印) 太郎次郎(印) 五郎太郎(印) 二郎四郎(印) 二郎五郎(印)

二郎三郎(印) 兵衛太郎(印)

四 「兼見卿記」 元龜三年二月九日条

昨日被仰出(為)竹木植土居了、正実坊・歳阿申渡了、

五 「兼見卿記」 天正十四年十二月九・十・十一日条

自鴨申来云、関白奉行竹藪悉注之、唯今当郷へ可来、認以下可用意之由、飛脚申来了、驚畢、先度民部法印

ヨリ尾池源七郎来而、藪悉注之、罷版也、又如何、俄理モ難相屈、不是非仕合也、認之儀申付之、相待処へ、即来、川原長右衛門(定勝)・落合入道、今一人法印之上使也、以左馬允御朱印不来以前持遣之、略次也、此の方可来之由申也、即入宅、御朱印見之、予罷出申御礼、連々無別義理、当朱印之段申畢、川長存知之外入魂也、先安堵畢、川長云、如此嚴重之御朱印、連々無別義御理承也、唯今卒度も不可有別義、可存心安之由申畢、予弥頼入之由、弥申談了、即罷版之間、(令抑留之處、既出門外之間)罷出、種々雖招請、他郷へ急之由申、罷罷版畢、仕合大慶く、神慮也、幽齋折節来、彼上使衆令存知之用捨也、祝着々々、幽齋落合二入魂也、依此義川長即時相済了、幽齋一段祝着之由被申畢、明日西岡知行へ被罷超、直版国由被申畢、今夜左京助、先度尾池注之藪悉相談、明日彼上使へ礼二可罷出、樽代之儀申付畢、各云、明朝於京都令馳走、可相調之由申畢

十日

川原長右衛門尉へ為礼罷出、未雨禪寺二逗留也、於方丈申礼也、雁一、遣之、在所之義、弥不可有別義由令入魂畢、落合、今一人奉行へ者宿所へ罷向、今度馳走可申之由、相談畢、直出京、向尾池源七郎方、戮刻相待、松田勝右衛門尉(政行)与対談、算用之義也、今日中難明瞭之由之間、罷版了、直上京へ罷、勸修寺(晴豊)、其外一両所見舞畢

十一日

尾池方へ以書状遣喜介(鈴鹿)、青銅百匹・銚一・鱒一、遣之、返事有之、在所竹之義、不可有別義之由申訖

六 「兼見卿記」 天正十四年八月八日条

藪垣之普請申付了

七 「兼見卿記」 天正十五年三月十日条

河原長右衛門竹奉行也、今度当郷以御朱印之旨用捨、殊令入魂之間、罷向、百匹・鞆一懸持參、於門外对面了

八 「兼見卿記」 天正十五年四月四日条

普請、藪垣掘ウラ之普請三所、人数ヲ分申付之、各出来

九 「兼見卿記」 天正十五年六月二十三・二十六日条

尾池源七郎喜助ヲ召寄、申来而云、法印(前田玄以)内證也、竹不依多少所望也、如何

廿六日

民法(前田玄以)へ竹卅束持遣之、尾池源七郎相渡之、神龍院(梵舞)へ八束、松樂庵四束・右京助二束・主殿允二束、妙心院一束・周超一束・智福院二束・其外屋敷之廻切之

一〇 「竹上納二付請状」 大中院文書

あけ竹之儀ニ付て、河原長右衛門尉殿へ札銭出し申し候かと御尋候、少も出し申たる事無御座候、自然偽申候ハ、きこしめし次第に被遂御糾明、可被成御成敗、仍如件

天正十七

九月十七日

今里郷

久介(筆軸印)

彦左衛門(筆軸印)

宗貞(筆軸印)

掃部(筆軸印)

五郎衛門(筆軸印)

新左衛門(筆軸印)

弥衛門(筆軸印)

粟生村

二郎衛門(筆軸印)

福泉(筆軸印)

又左衛門(筆軸印)

民部卿法印様

御奉行中

*京都市歴史資料館『大運院文書・永運院文書』叢書京都の史料5 二〇〇六

一一 「兼見卿記」 天正十八年二月二十九日条

在所之北外カワ藪垣、セト屋之者共申付之

一二 「兼見卿記」 天正十八年八月十七日条

普請、二重堀・垣已下申付候、奉行、六

一三 「兼見卿記」 天正十八年十一月三十日条

門外藪垣申付畢、奉行、六

一四 「鹿苑日録」 天正十九年三月十日日条

* 国立国会図書館デジタルアーカイブ

今度洛下四方新堤之内竹木之奉行兩員領之云々、即自殿下被仰下也、自今以後自何方申族在之者、兩人奉行江其謂可申由也、近來河原長右衛門尉雖為竹木奉行、今日交代、仰此旨洛中以上口相触也、寺中竹木一切堅伐採事停止之由也、修理等用所在之者、兩人奉行可相届由也、即自寺中兩奉行江一筆、維那桐首座一判也、其文曰、寺中竹木之儀、堅被成御留旨、御触之通、委細心得存候、若伐採申候者、可被成御成敗也、自然依從何方御伐候共、御両所江御届可申候、寺家修理等用所於有之者、御理可申入候、為其状如件、三月十一日、維那集桐在判、森民部太夫殿、同兵枯殿、右如此調遣也、自兩人奉行之使者五人、於客殿富春対面、雖可勸酒、不用之由法度也、喫茶帰矣、自上圓有使者、森民部太夫当院者不混自余、竹木被相除様可申之由也、珍々重々、他日猶以理可申也、自兩奉行今日來候、使駒井久右衛門云々、

一五 「舜旧記」慶長二年四月十日条

当院藪植申付了、依雨降半分程出来也

一六 「京都所司代前田玄以上ヶ竹赦免状」 大徳寺文書

当寺境内、公儀毎年上竹事、自今以後、御免之上者、竹木等一切不可掘採伐採、縦誰々雖為所望、不可有同心、況令沽却儀於在之者、可為曲事、為修理用所之時者、遂案内可被随其者也

慶長三

徳善院

九月十八日

玄以(花押)

大徳寺

役者中

*『大日本史料』大徳寺文書之一

一七 「舜旧記」慶長四年閏三月十七日条

当院藪垣申付

一八 「京都所司代板倉勝重上ヶ竹赦免状」 今里区有文書(長岡京市)

当村従寺々毎年上竹式拾三束之事、被赦免訖、可令存知之旨、依仰執達如件

慶長拾年

九月廿六日 勝重(花押)

城州西岡之内

今里村

極楽寺

西光寺

右式ヶ寺中

*『今里地区古文書調査報告書』より

一九 「京都所司代板倉勝重上ヶ竹赦免状」 下海印寺区有文書(長岡京市)

(封紙) 「下海印寺村

寺方

板倉伊賀守」

当村従寺々、毎年上竹七束之事、被赦免訖、可令存知之旨、依 仰執達如件

慶長拾年

九月廿六日 勝重(花押)

下海印寺村
阿弥陀寺
松坊
地藏院
右三ヶ寺中

*『長岡京市史』資料編三より

二〇 京都所司代板倉勝重上ヶ竹赦免状 奥海印寺区有文書(長岡京市)

当村従寺々、毎年上竹四束之事、被赦免訖、可令存知之旨、依 仰執達如件

慶長十年十月十二日 勝重(花押)

城州西之岡奥海印寺村

寂照院

慈現院

右二ヶ寺中

*写真提供 長岡京市教育委員会

二二 「舜旧記」慶長二年四月十日条

次久内取次竹屋三人来、竹百本斗キラセ候也

二三 「舜旧記」元和六年九月十六日条

当院竹廿束、竹屋與一方へ例年令活却也、艮六十目代也

二三 「長法寺村明細書上」 佐藤年秀家文書(長岡京市)

山城国乙訓郡 長法寺村
高式百廿石三斗
内
百七十式石二斗六升四合九勺 田方
廿八石九斗六升壹合壹勺 畠屋敷
十九石七升五合 永荒

式百廿石三斗 日そん所
此取百七石九斗四升七合 但四ツ九分

内御給人方

高六十石 御つほね 宮内きやう殿

高六十七石 御つほね 上らう様

高六十式石五斗壹升 御つほね 大助殿

高三十七斗九升 北面中 十三人

合式百廿石三斗

氏神 妙見大菩薩

在所之間敷 東西百七十八間 南北式百廿六間

家数 廿七家

人数 百十九人 男五十四人 女六十五人

御運上 小竹 壹束

是ハ二条御城へ上ヶ申候

右之通少も相違御座無候

正保三年 庄や 作左衛門(印)

三月十五日 市左衛門(印)

久左衛門(印)

年寄 弥右衛門

板倉周防守様御内

梅戸八右衛門殿

関屋市郎右衛門殿

*『長岡京市史』資料編三より

二四 「上り竹請取状」

佐藤年秀家文書(長岡京市)

請取申上り竹之事

合老束者 小竹一尺八寸繩

右是者例年上り竹己酉ノ年分、慥ニ請取申処実正也

寛文九酉

十一月廿二日

山上東右衛門(印)

福井六郎左衛門(印)

天地勘右衛門(印)

長法寺村

*『長岡京市史』資料編三より

二九「上り竹場所定書」

佐藤年秀家文書（長岡京市）

今度御上り竹之場所御吟味ニ付
場所字かわノ上 御上り竹三歩 清左衛門（印）
場所字畑之上 御上り竹七歩 仁兵衛（印）
右之通り少も相違無御座候、為其惣中連判仍如件

久左衛門（印） 庄兵衛（印） 源助（印） 次右衛門
四郎左衛門
（外百姓二九名連印略）
延宝七己未二月六日

*『長岡京市史』資料編三より

三〇「上り竹手引帳」

佐藤年秀家文書（長岡京市）

「山^{（表）}城国乙訓郡
御上り竹手引帳
西岡 長法寺村」

御本所
大典侍御局様
新典侍御局様
田村御局様
北面中様
梨子木左兵衛様

一 御上り竹三分 清左衛門（印）
場所字河之上
一 御上り竹七分 仁兵衛（印）
場所字畑上
右合一束 但耆尺八寸繩ニて
延宝七年

己未二月八日 庄屋
年寄 四郎左衛門（印）
御奉行様 庄右衛門（印）

*『長岡京市史』資料編三より

三一 「上ヶ竹手引帳」 今里区有文書（長岡京市）

上ヶ竹御手引帳 乙訓郡今里村
二条御城江上竹
束竹式拾束 但シ壹尺八寸繩

徳大寺様下

中ノ屋敷

一 三畝 分米三斗九升五合

孫三郎

右之外藪

上ヶ竹

一 壹束

同人

西大路様下

屋敷

一 拾歩 分米四斗七合

神足半兵衛

右之外藪

上ヶ竹

一 六分七厘

同人

伏見様下

屋敷

一 壹畝 分米壹斗四升九合四夕

久兵衛

右之四壁

上ヶ竹

一 壹束

同人

転法輪様下

屋敷

一 壹畝拾九歩 分米貳斗壹升六合

九右衛門

右之外藪

上ヶ竹

一 六分

同人

花山院様下

屋敷

一 壹畝 分米壹斗三合

重兵衛

右之四壁上ヶ竹

一 七分五厘

同人

御岩様下

西東院様下

屋敷

一 拾六歩 分米七升

右兵衛

伝七郎

内はた

一 貳分 分米九合

同人

屋敷
一 拾四歩 分米六升
右之四壁上ヶ竹
一 壹束七分
同人
一 六分七厘
同人

転法輪様下
屋敷
一 拾六歩 分米六升
六右衛門
一 七分
右之四壁上ヶ竹
同人

一 六分七厘
外藪上ヶ竹
九兵衛

花山院様下

屋敷
一 貳拾四分 分米壹斗三合三夕
次兵衛
一 一束 七兵衛
外藪上ヶ竹
同人
一 三分三厘
九兵衛

西洞院様下

一 八分 分米三石四合
治郎兵衛
一 五分
右之外藪上ヶ竹
同人
又右衛門

万里小路様下

屋敷
一 拾貳歩 分米五斗貳合
六兵衛
一 六歩七厘
右之四壁上ヶ竹
同人

徳大寺様下

屋敷
一 壹畝拾歩 分米壹斗八升七合
吉兵衛
一 是ハ西向寺御赦免
清右衛門
右之四壁上ヶ竹
同人
一 六分六厘
同人
外藪上ヶ竹
又兵衛
一 三分三厘

徳大寺様下

内はた
一 壹畝貳歩 分米壹斗四升九合
仁左衛門
一 六分七厘
右之四壁上ヶ竹
同人

- 万里小路様下
- 西園寺様下
- 御岩様下
- 屋敷
 - 一 老畝 分米壹斗四升 善兵衛
- 同所
- 一 拾五歩 分米七升 同人
- 同所
- 一 拾五歩 分米七升 同人
- 右之四壁上ヶ竹
- 一 貳分五厘 同人
- 伏見様下
- 屋しき
 - 一 老畝 分米壹斗四升 与三右衛門
 - 右之四壁上ヶ竹
- 一 貳分五厘 同人
- 伏見様下
- 屋敷
 - 一 老畝 分米壹斗四升 孫介
 - 右之四壁上ヶ竹
- 一 三分三厘 同人
- 花山院様下
- 屋敷
 - 一 老畝貳歩 分米壹斗九升六合七夕 八兵衛
 - 右之四壁上ヶ竹
- 一 六分七厘 同人
- 伏見様下
- 徳大寺様下
- 屋敷
 - 一 老畝拾歩 分米壹斗四升九合 七兵衛
- 同所
- 一 貳拾四歩 分米壹斗壹升七合 同人
- 同所
- 一 三分 分米壹升三合 同人
- 一 三分三厘 右之四壁上ヶ竹
- 松木様下
- 万里小路様下
- かきの木
- 一 貳畝 分米貳斗六升 市左兵衛
- 藤ノ内
- 一 三畝拾歩 分米四斗三升三合 同人
- 同所
- 一 老畝拾八歩 分米貳十七合 同人
- 一 貳束 是ハ極楽寺御赦免

- 一 六分七厘 右之外藪上ヶ竹
- 花山院様下
- 松木様下
- 御岩様下
- 屋敷
- 一 拾二歩 分米五升貳合 茂兵衛
- 内はた
- 一 貳畝拾歩 分米貳斗五升七合 同人
- 同所
- 一 老畝拾五歩 分米貳斗六升 同人
- 一 三束 是ハ極楽寺御赦免 同人
- 一 貳束 右之外藪上ヶ竹 同人
- 一 一束 外藪上ヶ竹 三郎左衛門
- 大炊様下
- 内はた
- 一 老畝貳歩 分米老斗三升九合 太兵衛
- 同所
- 同所 貳拾老歩 分米九升 五兵衛
- 一 貳束 右之四壁上ヶ竹
- 竹合式拾束
- 御赦免藪
- 高入荒地藪
- 村之苻藪 御手引帳
- 陽徳院様下
- 林条
- 一 老畝貳歩 分米老斗九升壹合 法皇寺
- 但屋敷有 藪有
- 同御所様分
- 林条
- 一 貳拾四歩 分米老斗四合 法皇寺
- 同所
- 一 老畝廿歩 分米貳斗壹升六合 同人
- 同所
- 一 老畝拾八歩 分米貳十八合 同人
- 右三ヶ所内ニ屋敷有藪有
- 松木様下
- 伏見様下
- 法大寺様下

- | | | | |
|--------|----------|---------------|------|
| 林条 | 一 老畝式拾四歩 | 分米式斗三升四合 | 清兵衛 |
| 同所 | 一 式畝 | 分米式斗六升 | 同人 |
| 林田 | 一 老畝 | 分米老斗三升 | 同人 |
| | | 右三ヶ所之内ニ屋敷有藪有 | |
| | | 西園寺様下 | |
| 屋敷 | 一 拾八歩 | 分米七升八合 | 作衛門 |
| | | 但古屋敷有藪有 | |
| 一 村之符藪 | | | 九右衛門 |
| 一 村之符藪 | | | 惣左衛門 |
| | | 万里小路様下 | |
| 屋敷 | 一 式畝式拾歩 | 分米三斗七升四合 | 加兵衛 |
| | | 但畑有藪有 | |
| | | 万里小路様下 | |
| 屋敷 | 一 式畝拾式歩 | 分米三斗四升六合 | 孫兵衛 |
| | | 御岩様下 | |
| どいノ内 | | | 藤介 |
| 一 老畝拾歩 | | 分米老斗七升六合 | |
| ひらき | | | 同人 |
| 一 式拾六歩 | | 分米老斗老升式合 | |
| | | 右式ヶ所之内ニ古屋敷有藪有 | |
| | | 御岩様下 | |
| 屋敷 | 一 老畝式拾六歩 | 分米式斗四升式合五夕 | 茂兵衛 |
| | | 但藪有 | |
| | | 花山院様下 | |
| 屋敷 | 一 老畝式拾六歩 | 分米式斗四升式合五夕 | 仁兵衛 |
| | | 但古屋敷有藪有 | |
| | | 徳大寺様下 | |
| 屋敷 | 一 拾歩 | 分米四升七合 | 九右衛門 |
| | | 但藪有 | |
| | | 万里小路様下 | |
| 屋敷 | | 土佐様上り知行下 | |
| 一 老所 | | 分米三升五合 | 佐衛門 |
| 同所 | | | |

- 一 壱所 分米四升 同人
- 右式ヶ所之内藪有
- 屋敷 万里小路様下
- 一 八歩 分米三升五合 加兵衛
- 一 壱束 是ハ西園寺御赦免 同人
- 但家有藪有
- 門島 伏見様下
- 一 拾六歩 分米四升六合 九郎兵衛
- 但畑有藪有
- しんさいけ 西園寺様下
- 一 畝 分米壹斗三升 惣左衛門
- 但荒林
- 屋敷
- 一 壱畝六歩 分米壹斗五升四合 市兵衛
- 但藪有
- 大炊様下
- 一 六歩 分米六升 加兵衛
- 但荒林
- しんさいけ 御岩様下
- 一 六歩 分米貳升六合 与左衛門
- 但荒林
- 陽徳院様下
- 内畑
- 一 貳拾六歩 分米壹斗貳升 惣左衛門
- 北かいと 伏見様下
- 一 壱畝拾歩 分米壹斗三升八合 与三左衛門
- 但荒林
- 伏見様下
- 同所
- 一 壱畝拾歩 分米壹斗七升三合 清右衛門
- 但荒林
- 伏見様下
- 内畑
- 一 壱畝拾八歩 分米壹斗八升 甚左衛門
- 但荒林
- 一 壱束 但西向寺御赦免 西向寺
- 但西向寺御赦免
- 屋敷 陽徳院様下
- 西洞院様下

- 一 老畝拾歩 分米老斗八升八合 九郎兵衛
- ふるの屋敷
- 一 式畝 分米式斗六升 同人
- 一 老束 但是八西向寺御赦免藪
- 陽徳院様下
- 一 老畝 分米七升七合 佐次兵衛
- 但藪有
- 村之符藪
- 伏見様下
- 屋敷
- 一 老畝 分米老斗 仁右衛門
- 但家有藪有
- 転法輪様下
- 松木様下
- 屋敷
- 一 式畝八歩 分米式斗八升 孫右衛門
- 同人
- 一 老畝 分米老斗四升 同人
- 右二ヶ所之内家有藪有
- 伏見様下
- 屋敷
- 一 拾式歩 分米五升七合 市兵衛
- 利兵衛
- 一 老束 是八西向寺様御赦免 但家有藪有
- 大炊様下
- 松木様下
- 屋敷
- 一 拾七歩 分米七升七合四夕 長三郎
- 内はた
- 一 式拾歩 分米老斗四合 同人
- 右二ヶ所之内ニ家有藪有
- 村之符藪 源左兵衛 七郎左衛門
- どいの内
- 一 式畝老式歩 分米三斗老升式合 吉三郎
- 林条
- 一 八畝廿歩 分米老石老斗式升七合
- 右二ヶ所之内ニ家有藪有
- 伏見様下
- 葉室様下
- 林条
- 一 畝 分米九升 勘右衛門
- 同人
- 一 六歩 分米式升式合 同人
- 同所

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 一 式畝廿歩
右三ヶ所之内二家有藪有 | 同人 |
| 花山院様下
大炊様下 | |
| 林条
一 式拾歩
分米九升八合 | 甚兵衛 |
| 同所
一 二拾三歩
分米九升九合 | 同人 |
| 屋敷
一 式拾歩
分米九升四合
右三ヶ所之内二畑有藪有 | 同人 |
| 伏見様下 | |
| 神前
一 式畝
分米式斗八升六合
但畑有藪有 | 利兵衛 |
| 西洞院様下 | |
| 神ノ前
一 三分
分米壹斗壹升五合
但荒林 | 又兵衛 |
| 伏見様下 | |
| 神ノ前
一 三畝
分米三斗九升
但畑有藪有 | 五郎右衛門 |
| 葉室様下 | |
| 神前
一 壹畝式歩
分米壹斗壹升七合
但荒林 | 法皇寺
市郎兵衛 |
| 土佐様上り知行下 | |
| 神前
一 壹畝
分米壹斗三升 | 五右衛門 |
| 同前
一 式歩
分米八合六夕
右二ヶ所之内畑有藪有 | 同人 |
| 大炊様下 | |
| 一 式拾四歩
分米八斗六合
但荒林 | 太助 |
| 一 式東
但是ハ西向寺様御赦免
右之内二家有藪有 | 藤助 |
| 一 壹東
但西向寺御赦免 | 清兵衛 |
| 陽徳院様下 | |
| 屋敷
一 壹畝五歩
分米壹斗六升四合
但藪有 | 新兵衛 |
| 伏見様下 | |

屋敷
一 壹畝拾五歩 分米貳斗壹升 八左衛門
但藪有

花山院様下

屋敷
一 壹畝五歩 分米壹斗六升貳合 九郎左衛門
一 壹束 但是ハ極楽寺御赦免
右之内ニ家有藪有
一 壹束 但是ハ極楽氏御赦免 極楽寺

花山院様下

あかの上
一 壹畝貳拾五歩分米貳斗十三升七合 弥右衛門
但荒林

転法輪様下

あかの上
一 壹畝廿歩分米貳斗壹升六合 藤助
但荒林

伏見様下

あかの上
一 拾六歩 分米七升 市兵衛
但荒林

西園寺様下

あかの上
一 壹反八畝八歩分米貳石三斗七升四合 勘右衛門
但家有畑有藪有

右所々の藪無相違相定候ニ付
奥書一札之事

一 今度石川主殿守様より御上ヶ竹
指上ヶ候人々持符藪之場所御改
被成候、依其今里村百姓中持来り候
藪、二条御城詰竹貳拾束、法皇寺
御赦免之竹貳拾七束、極楽寺・
西向寺兩寺御赦免之分貳拾三束
都合七拾束也、右之藪所々竹出シ候
帳面も古分無御座、五六拾年之内
にも御改終に覚不申候、往古今里
任古例ニ竹出シ候、今度御改ニ付
藪之場所村々庄屋年寄中
寄合吟味仕候而も其分明細ニ知レ
かたく候ニ付、多分ニよらず藪持候
百姓中耆人も不残集リ其上村々
年寄中立合吟味仕候運上之藪、御
赦免之藪、荒畑之藪、村々符林
之藪、古之所々吟味仕候処ニ、人々断リ有
之、以手引其子細分明故、悉ク
藪之所々相定候、右人々引渡シ候通、

藪之場所毛頭相違無御座候、万一何角と申訴人御座候ハ、我等共罷出御断申分、何も庄屋年寄中之御難ニかけ申間敷候、為其何も判形如件

延宝七己未年 今里村
二月七日

藪主分	同
太兵衛(印)	五兵衛(印)
三郎左衛門(印)	九郎左衛門(印)
源右衛門(印)	小兵衛(印)
甚兵衛(印)	八兵衛(印)
新兵衛(印)	源助○
与左衛門○	八左衛門○
善兵衛(印)	作右衛門(印)
仁右衛門(印)	藤介(印)
市兵衛(印)	吉兵衛(印)
清右衛門(印)	利兵衛(印)
佐治兵衛(印)	六兵衛○
孫衛門(印)	甚左衛門○
又兵衛(印)	太郎兵衛(印)
又右衛門(印)	仁右衛門(印)
久兵衛(印)	惣左衛門(印)
忠兵衛(印)	九右衛門(印)
与左兵衛(印)	加兵衛(印)
六右衛門○	傳七(印)
次郎兵衛(印)	孫三郎(印)
与三左衛門(印)	孫兵衛○
佐右衛門(印)	三郎兵衛(印)
五郎右衛門(印)	仁兵衛(印)
勘右衛門(印)	七郎衛門(印)
源左衛門(印)	吉三郎(印)
長三郎(印)	清兵衛(印)
神足	
半兵衛(印)	
年寄ノ分	同
六左衛門○	七左衛門(印)
惣三郎(印)	二郎左衛門(印)
与介(印)	四朗右衛門(印)
弥七衛門(印)	庄三郎(印)
次郎右衛門(印)	半兵衛(印)
源七衛門(印)	弥右衛門(印)
仁介○	長四郎(印)
半介(印)	忠三郎(印)
九三郎(印)	徳兵衛(印)
五郎左衛門(印)	七郎右衛門(印)
彦兵衛(印)	市左衛門(印)
彦左衛門(印)	三之丞(印)

*長岡京市教育委員会提供写真より

三三 「乙訓郡下海印寺村上ヶ竹藪検地帳」 下海印寺区有文書（長岡京市）

（表紙）
一 延宝七巳未年 六月

山城国乙訓郡下海印寺村二条御城江上ヶ竹藪帳

石川主頭内
 検地惣奉行
 石川伊織
 検地元
 伴九郎左衛門
 同
 加藤善太夫

四壁	一 藪 七間 五間	壹畝五歩	仁兵衛
	此上ヶ竹拾九本		
同	一 藪 四間 三間	拾貳歩	庄左衛門
	此上ヶ竹八本		
外藪	一 藪 四間 貳間半	拾歩	四郎左衛門
	此上ヶ竹五本		
同	一 藪 拾壹間 三間五尺	壹畝拾貳歩	佐兵衛
	此上ヶ竹拾八本		
四壁	一 藪 八間 貳間	拾六歩	甚太夫
	此上ヶ竹拾壹本		
四壁	一 藪 四間半 貳百四尺	拾貳歩	彦左衛門
	此上ヶ竹八本		
同	一 藪 貳間半 貳間	五歩	甚介
	此上ヶ竹三本		
同	一 藪 貳間半 貳間	五歩	九郎兵衛
	此上ヶ竹三本		

同	一 藪 此上ヶ竹拾四本	一 藪 此上ヶ竹拾四本	外藪 一 藪 此上ヶ竹四拾八本	外藪 一 藪 此上ヶ竹拾六本	同	一 藪 此上ヶ竹拾四本	四壁 一 藪 此上ヶ竹拾四本	同	一 藪 此上ヶ竹五本	同	一 藪 此上ヶ竹拾三本	四壁 一 藪 此上ヶ竹九本	同	一 藪 此上ヶ竹八本	同	一 藪 此上ヶ竹拾四本	四壁 一 藪 此上ヶ竹四本	同	一 藪 此上ヶ竹式本	同	一 藪 此上ヶ竹式本	四壁 一 藪 此上ヶ竹式本
	式間 三間半	式間 三間半	九間 八間	五間式尺 四間半	五間式尺 四間	六間 四間半	五間四尺 三間	四間四尺 三間	四間四尺 三間	四間四尺 三間	五間五尺五寸 三間半	四間四尺 三間	四間 四間	四間 四間	六間 四間半	五間 沓間沓尺式寸	六間 三尺	五間 沓間沓尺式寸	六間 三尺	四間 四尺五寸	六間 三尺	四間 四尺五寸
	壹畝五歩	壹畝五歩	式畝拾式歩	式拾四歩	式拾七歩	式拾七歩	拾四歩	拾四歩	十六歩	十六歩	式拾歩	拾四歩	十六歩	十六歩	式拾七歩	六歩	三歩	六歩	三歩	三歩	三歩	三歩
	甚左衛門	甚左衛門	三郎左衛門	作左衛門	太郎左衛門	太郎左衛門	新兵衛	新兵衛	弥左衛門	弥左衛門	長左衛門	新兵衛	新兵衛	弥左衛門	四郎左衛門	彦右衛門	次郎右衛門	彦右衛門	次郎右衛門	九右衛門	九右衛門	九右衛門

一藪	四間 貳間	八歩	又右衛門
此上ヶ竹三本			
外藪			
一藪	四間 四間	拾六歩	喜兵衛
此上ヶ竹七本			
同			
一藪	拾貳間半 貳間	貳拾五歩	甚兵衛
此上ヶ竹三本			
同			
一藪	拾間 三間半	壹畝五歩	六左衛門
此上ヶ竹五本			
藪反合壹反九畝三歩			
上ヶ竹合八束	小柄竹	但壹東三尺八寸繩四拾本詰	

右者山城国乙訓郡下海印寺村上ヶ竹藪地檢地依被 仰付候、六尺間竿を以、壹反三百歩也、反畝歩・上ヶ竹員數吟味之上、委細書記帳面相極置者也
延宝七未六月

石川主頭内	檢地惣奉行	石川伊織(印)
同	檢地元	伴九郎左衛門(印)
同	同	加藤善太夫(印)
同	檢地奉行	豊泉庄太夫(印)
同	同	拓植左平次(印)
同	下海印寺村庄屋	太郎左衛門(印)
同	同村案内者	庄左衛門(印)
同	同	又右衛門(印)
同	同	
墨付七枚之内、落字・付ケ字・削目なし		

*長岡京市教育委員会提供写真より

三三 「乙訓郡奥海印寺村上ヶ竹藪検地帳」 奥海印寺区有文書（長岡京市）

〔表紙〕
延宝七巳未年 六月

山城国乙訓郡奥海印寺村二条御城江上ヶ竹藪帳

石川主頭内

検地惣奉行

石川伊織

検地元

伴九郎左衛門

同

加藤善太夫

四壁

一 藪 七間 六間 四尺三寸 壹畝拾七步 吉右衛門

同

一 藪 八間 三間 式拾四步 六左衛門

四壁

一 藪 四間 式間半 拾步 四郎左衛門

同

一 藪 拾壹間半 式間 式拾三步 次郎兵衛

同

一 藪 拾壹間半 式間 式拾三步 次郎兵衛

同

一 藪 六間 式間四尺 拾六步 源左衛門

四壁

一 藪 七間半 式間 拾五步 勘兵衛

同

一 藪 拾八間式尺四寸 壹畝拾六步 長左衛門

同

一 藪 拾上ヶ竹拾式本 此上ヶ竹拾式本

同

一 藪 五間半 五間式尺七寸 壹畝歩 弥兵衛

同

一 藪 此上ヶ竹三本

同

一 藪 此上ヶ竹三本

四壁	一藪	七間 三間	式拾壹歩	彦兵衛
	同上	同上	同上	同上
一藪	五間半	三間壹尺六寸	拾八歩	忠兵衛
	同上	同上	同上	同上
四壁	一藪	八間 四尺五寸	六歩	次郎右衛門
	同上	同上	同上	同上
一藪	五間 三間	拾五歩		彦左衛門
	同上	同上	同上	同上
一藪	貳間 三尺	壹歩		吉之丞
	同上	同上	同上	同上
四壁	一藪	五間半 五間	式拾八歩	助右衛門
	同上	同上	同上	同上
一藪	八間 五間五尺三寸	壹畝拾七歩		喜助
	同上	同上	同上	同上
一藪	壹間 壹間	壹歩		惣兵衛
	同上	同上	同上	同上
一藪	四間 四間	十六歩		弥左衛門
	同上	同上	同上	同上
四壁	一藪	七間 貳間	拾四歩	五郎右衛門
	同上	同上	同上	同上
一藪	貳間半 貳間	五歩		太郎左衛門
	同上	同上	同上	同上
一藪	拾壹間 貳間半	式拾七歩		孫介
	同上	同上	同上	同上
四壁	一藪	五間 壹間	五歩	忠三郎

一	藪	六間三尺六寸	六間半	壹畝拾參歩	甚兵衛
		此上ヶ竹六本			
同	一	藪	拾四間四尺五寸	四間	壹畝貳拾九歩
			此上ヶ竹八本		久兵衛
四壁	一	藪	五間四尺	三間半	貳拾歩
			此上ヶ竹貳本		利兵衛
同	一	藪	六間	五間壹尺	壹畝一歩
			此上ヶ竹四本		庄右衛門
同	一	藪	三間	貳間	六歩
			此上ヶ竹貳本		吉左衛門 久兵衛
四壁	一	藪	拾六間三尺六寸	壹間半	貳拾五歩
			此上ヶ竹三本		善兵衛
同	一	藪	七間壹尺貳寸	五間	壹畝六歩
			此上ヶ竹拾本		長兵衛
同	一	藪	七間半	壹間半	拾壹歩
			此上ヶ竹四本		半兵衛
四壁	一	藪	六間壹間半	四間半	貳拾七歩
			此上ヶ竹拾壹本		清左衛門
同	一	藪	四間	三間	拾貳歩
			此上ヶ竹三本		次郎左衛門
同	一	藪	四間	壹間半	六歩
			此上ヶ竹貳本		七三郎
四壁	一	藪	三間	貳間壹尺五寸	九歩
			此上ヶ竹貳本		惣右衛門
同	一	藪	四間	壹間壹尺五寸	五歩
			此上ヶ竹貳本		市郎衛門

此上ヶ竹巻本

同

一 藪 拾九間卷尺八寸 卷間半 式十九歩 七兵衛
此上ヶ竹四本

四壁

一 藪 六間半 式間卷尺八寸 拾五歩 九兵衛
此上ヶ竹四本

同

一 藪 五間卷尺五寸 卷間卷尺 六歩 与左衛門
此上ヶ竹巻本

同

一 藪 三間五尺 式間 八歩 弥左衛門
此上ヶ竹巻本

藪反合式反六畝拾六歩

上ヶ竹合四束半 小柄竹 但巻束三尺八寸縄四拾本詰

右者山城国乙訓郡奥海印寺村上ヶ竹藪地檢地依被 仰付候、六尺間竿を以、巻反三百歩也、反畝歩・上ヶ竹員數吟味之上、委細書記帳面相極置者也

延宝七未六月

石川主頭内

檢地惣奉行

石川伊織 (印)

檢地元ノ

伴九郎左衛門 (印)

同

加藤善太夫 (印)

檢地奉行

豊泉庄太夫 (印)

檢地奉行

芦川権之丞 (印)

奥海印寺村庄屋

吉之丞 (印)

同村案内之者

九郎兵衛 (印)

同

市郎右衛門 (印)

墨付七枚之内、落字・付ヶ字・削目なし

*長岡京市教育委員会提供写真より